

# 青森県農業経営士及び青年農業士認定要領

昭和51年9月1日制定  
平成23年10月7日改正  
平成26年7月25日改正  
平成30年8月2日改正  
令和3年8月18日改正  
令和6年7月12日改正

## 1 目的

国際化の進行に対応できる体質の強い農業構造と活力ある農村を築くためには、地域農業のリーダーによる主体的な指導活動を促進していくことと農業青年に農業経営者になろうとする学習意欲を喚起して優れた指導者を育成することが極めて重要である。

このため、優れた農業経営を実践し、地域農業や農村生活のリーダーとして指導的役割を果たしている農業者を青森県農業経営士に認定し、その自主的活動を促進する。

また、自ら農業及び集団活動に積極的に取り組み、将来とも地域農業の推進者となり得る模範的な農業青年を青森県青年農業士として認定し、自信と目標を与えて資質向上と自主的な組織活動や連帯感の高揚を図る。

## 2 役割

### (1) 農業経営士

- ア 優れた農業、豊かな農村生活に関する実証とその成果の普及
- イ 地域農業の担い手育成に関する助言指導
- ウ 農村青少年や非農家からの新規就農者の受入れと技術習得の指導活動
- エ 地域農業や農村生活のリーダー活動の促進
- オ 青年農業士との連携活動

### (2) 青年農業士

- ア 農業に関する研修と実践
- イ 地域農業におけるリーダー的活動
- ウ 農村青少年クラブ等農村青少年集団の指導者としての活動
- エ 地域農業、農村を振興する活動への参加及び協力
- オ 農業経営士との連携活動

## 3 認定要件

### (1) 農業経営士

次のアからカまでの要件を満たす者とする。

- ア 農業経営が地域農業をリードできる内容である認定農業者又はその配偶者で同様の営農、活動を行っている者等
- イ 地域農業担い手の育成・確保に常に熱意を有し、円満な人格と高い見識を有する者
- ウ 地域におけるリーダーとしての指導力を有し、地域農業の振興や農村生活の向上に意欲的な者又はV i C・ウーマンとして5年以上の活動実績がある者
- エ 農業青年の先進農家留学や新規就農者等の実践研修を受入れ指導ができる者
- オ 農業生産組織や生活改善組織などの組織活動において指導的役割を担っている者又は産直やグリーン・ツーリズムなどの消費者交流・地域振興活動等に積極的に取り組んでいる者
- カ 年齢は、認定年度の4月1日現在でおおむね40歳以上であって、60歳未満の者

## (2) 青年農業士

次のアからエまでの要件を満たす者とする。

- ア 次の(ア)から(ウ)のいずれかに該当する者
  - (ア) 青森県営農大学校又は青森県農業大学校の所定の課程を修了した者
  - (イ) 若手農業トップランナー塾、あおもり農業経営塾又は県主催の短期研修を修了した者(認定年度内に修了見込みの者を含む)
  - (ウ) 知事が(ア)又は(イ)と同等の資質を有すると認めた者
- イ 5年以上の営農経験(海外における農業実習経験年数を含む)を有し、かつ、将来とも認定農業者等として農業経営を実践し地域農業の推進者になると見込まれる者
- ウ 農村青年等の集団や若手農業トップランナー塾において積極的に活動した者又は活動している者で、今後とも中心的活動ができると見込まれる者
- エ 年齢は、認定年度の4月1日現在で25歳以上であって、41歳未満の者

## 4 認定手続

- (1) 市町村長は、管内の農業者で農業経営士又は青年農業士としてこの要領の認定要件を満たすと認められる者がある場合、あらかじめ関係する農業協同組合長及び地区農業経営士・青年農業士会長に意見を聴いた上で、知事に推薦するものとする。

この場合、市町村長は次の書類を関係地域県民局長に提出するものとする。

- ア 青森県農業経営士及び青年農業士候補者推薦書(様式1)
  - イ 推薦同意書(様式2)
  - ウ 身上調書(様式3)
  - エ 経営調書(様式4)
  - オ レポート(別添農業経営士又は青年農業士候補者レポート作成要領による)
- (2) 地域県民局長は、前記により提出のあった候補者に関する書類に候補者に対する意見書(様式5)を付して構造政策課長に提出するものとする。

## 5 認 定

知事は、適任と認める者を農業経営士及び青年農業士として認定し、認定証書を交付するものとする。

## 6 認定期間と認定の取消し

### (1) 認定期間

#### ア 農業経営士

(ア) 認定日から65歳に達した年度の末日までとする。

(イ) 認定期間中の活動に功績のあった農業経営士に対し、認定期間満了後「名誉農業経営士」の称号を与えるものとする。

#### イ 青年農業士

認定日から45歳に達した年度の末日までとする。ただし、農業経営士に認定された時は認定日をもって満了するものとする。

### (2) 認定の取消し

ア 市町村長は、社会的、道義的に農業経営士又は青年農業士としてふさわしくない行為があると認めるときは、知事に認定の取消しを申し出ることができるものとする。

この場合、市町村長は認定取消申出書（様式6）を関係地域県民局長に提出するものとする。

イ 知事は、市町村長からのアによる取消申出があったとき、又は社会的、道義的に農業経営士又は青年農業士としてふさわしくない行為があると認めるときは、農業経営士又は青年農業士の認定を取り消すことができるものとする。

ウ 知事は、農業経営士又は青年農業士から認定取消しについて申請があり、正当性を認めるときは、認定を取り消すことができるものとする。

エ ウの認定取消しの申請は、市町村長を経由して行うものとする。

この場合、市町村長は取消申出書に申請書を付して関係地域県民局長に提出するものとする。

オ 地域県民局長は、ア又はエにより市町村長から提出のあった認定取消しに関する書類を構造政策課長に提出するものとする。

## 7 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

様式 1

青森県農業経営士（青年農業士）候補者推薦書

年 月 日

青森県知事

殿

市 町 村 長 名

下記の者を 年度青森県農業経営士（青年農業士）候補者として推薦します。

記

1 氏 名

2 住 所

3 生年月日

4 推薦理由

様式2

推 薦 同 意 書

年 月 日

住 所

氏 名

私は、 年度青森県農業経営士（青年農業士）候補者として推薦されることに同意します。

なお、推薦に関わる関係書類を下記のとおり提出します。

記

- 1 身上調書（様式3）
- 2 経営調書（様式4）
- 3 レポート

身 上 調 書

( 年 4 月 1 日現在)

ふりがな 氏 名	年 月 日生		写真添付 (3 cm × 4 cm)					
現住所	〒	TEL						
最終学校名	( 年 月卒) ( 年 月卒) ※農業高校、農大、営大卒業者は学校名を括弧に記載							
就農時期								
主な経歴 (役職、期間)								
賞 罰								
経営形態								
※1 家族の状況	氏 名	続柄	年齢	年間農業 従事日数	備 考 ※2			
農業生産組 織等 (学習組織 生活改善組 織を含む)	組織名	活動期間	主な役職とその期間					
経営改善計画 の認定※3	認定 ( 年 月 日)、再認定 ( 年 月 日) : 認定者 ( ) 認定無 (この場合、認定申請予定 有 ・ 無 )							
そ の 他	(資格、免許、農業外の活動など)							

※1 家族の状況欄は、農業従事日数が0の者は記載不要。ただし、後継予定者、配偶者は記載する。

※2 備考欄は、ViC・ウマン、青年農業士の認定状況、農大、営大への入校状況等について記載。

※3 経営改善計画の認定欄の認定者 ( ) には、候補者の加入している組織や家族等本人以外が認定されている場合に記載

様式3の2 (青年農業士候補者用)

身 上 調 書

( 年 4 月 1 日現在)

ふりがな 氏 名	年 月 日生		写真添付 (3 cm × 4 cm)					
現住所	〒	TEL						
最終学校名	( 年 月卒) ( 年 月卒) ※農業高校、農大、営大卒業者は学校名を括弧に記載							
就農時期								
研 修 歴	研 修 名		時 期		内 容			
賞 罰								
家の経営形態								
経営への関わり方	(責任部門とその規模など)							
※1 家族の状況	氏 名	続柄	年齢	年間農業 従事日数	備 考 ※2			
地域活動 (青少年活動、 生産組織等 も含む)	組織名	活動期間	主な役職とその期間					
経営改善計画 の認定※3	認定 ( 年 月 日)、再認定 ( 年 月 日) : 認定者 ( ) 認定無 (この場合、認定申請予定 有 ・ 無 )							
そ の 他	(資格、免許、農業外の活動など)							

※1 家族の状況欄は、農業従事日数が0の者は記載不要。ただし、後継予定者、配偶者は記載する。

※2 備考欄は、ViC・ウマン、青年農業士の認定状況、農大、営大への入校状況等について記載。

※3 経営改善計画の認定欄の認定者 ( ) には、候補者の加入している組織や家族等本人以外が認定されている場合に記載

様式 4

## 経 営 調 書

### 1 経営の概要

#### (1) 経営面積

(単位：a)

区分	現 状 ( 年) ※1			目 標 ( 年) ※2		
	所有地	借地	計	所有地	借地	計
水 田						
転作田						
普通畑						
園芸施設						
樹園地						
牧草地						
計						
作業受託	作業名	受託面積		作業名	受託面積	

※1 推薦を受ける年度の前年の数値を記入 (以下同様)

※2 現状の5年後の目標値数値を記入 (以下同様)

#### (2) 主要作目の作付状況

(単位：a)

作 目 名	作 付 面 積		備 考
	現状 ( 年)	目標 ( 年)	
計			



(3) 家畜飼養状況

(単位：頭、羽)

家 畜		現 状 ( 年)	目 標 ( 年)	備 考 (※登録数を記入)
乳用牛	成 牛			
	育成牛			
	計			
肉 用 牛	肥育牛	成 牛		
		育成牛		
		計		
	繁殖牛	成 牛		
		育成牛		
		計		

(4) 農用建物・施設・農機具所有状況

(単位：棟、㎡、台、円)

施設名等	規模 (数量)		形式又は 馬力	設置・導入年月	取得価格	備 考
	現 状 ( 年)	目 標 ( 年)				

2 農業経営の実績（ 年）※3

(1) 生産量・粗収益

(単位：a、頭、羽、kg、円)

作目	作付面積・ 飼養頭羽数	生産量		粗収益 ※5		備考
		全体	10a(1頭)当たり	全体	10a(1頭)当たり	
田・畑・ 果樹等	水稲					
	りんご					
	ながいも					
畜産						
受託等 ※4						
合計						

※3 推薦を受ける年度の前年の数値を記入

※4 受託等の欄は、作業受託、すそ物販売及び加工部門の前年の数値を記入

※5 農業経営士候補者の場合、“(2)作物別経営実績”の粗収益⑦と一致、また、青年農業士候補者の場合、“(2)農業経営の実績”の粗収益と一致

(参考)

りんご未成園やながいも等種子が含まれる場合などは、次表により10a当たりの生産量・粗収益の補正を行う。

作目	作付面積	生産量		粗収益		備考
		全体	10a(1頭)当たり	全体	10a(1頭)当たり	

## (2) 作物別経営実績 (農業経営士候補者用)

(単位:円)

項目		主要作物※6								経営全体 (合計)
		全体	10a当たり	全体	10a当たり	全体	10a当たり	全体	10a当たり	
粗 収 益	作付面積(a)・飼養頭羽数									
	販売額 ①									
	家事・事業消費額 ②									
	その他収入 ※7 ③									
	小計(①+②+③) ④									
	農産物棚卸高 期首 ⑤									
	農産物棚卸高 期末 ⑥									
	合計(④-⑤+⑥) ⑦									
農 業 経 営 費	租税公課									
	種苗費									
	素畜費									
	肥料費									
	飼料費									
	農具費									
	農薬・衛生費									
	諸材料費									
	修繕費									
	動力光熱費									
	作業用衣料費									
	農業共済掛金									
	減価償却費									
	荷造運賃手数料									
	雇人費									
	利子割引料									
	地代・賃借料									
	土地改良費									
	研修費									
	事務通信費									
その他										
	小計 ⑧									
	農産物以外の棚卸高 期首 ⑨									
	農産物以外の棚卸高 期末 ⑩									
	経費から差し引く育成費用 ⑪									
	合計(⑧+⑨-⑩-⑪) ⑫									
	所得(⑦-⑫) ※8									
	労働時間									
	うち家族の労働時間									
	1日(8時間)当たり所得※9									

※6 作業受託については、別部門として主要作物の欄に記載し、項目ごとの経費を記入

※7 その他の収入欄には、受取共済金・転作助成金等の額を記入し、内訳を別表1に記載

※8 不作等により前年所得が低い場合は、別表2に過去の経営実績を記載

※9 1日当たり所得=所得÷家族労働時間×8

別表1 その他収入の内訳 ※10

(単位：円)

科目 \ 作目	経営全体				
共済金					
転作助成金					
合計 ※11					

※10 その他収入：価格安定補てん金、各種給付（奨励、共済）金、中山間地域等直接支払交付金、JA配当金及び補助金など

※11 合計金額は作物別経営実績の「その他収入」の金額と一致

別表2 過去の経営実績 ※12

(単位：千円)

項目 \ 年	年 (前年)	年 (2年前)	年 (3年前)
粗収益			
経営費			
所得			

※12 不作等により前年の所得が低い場合に記載

(2) 農業経営の実績（青年農業士候補者用）※13

(単位：円)

作目 ※14	粗収益	その他収入	経営費	所得
計				

※13 推薦を受ける年度の前年の数値を記入

※14 作業受託等の場合は、作目欄に“その他(作業受託)”のように記入し、経営費も記入

参考1 その他収入の内訳

(単位：円)

科目 ※15				合計
経営全体の額				

※15 科目については、農業経営士候補者用の別表1を参照

参考2 過去の経営実績 ※16

(単位：千円)

項目 \ 年	年	年	年
	(前年)	(2年前)	(3年前)
粗収益			
経営費			
所得			

※16 不作等により前年の所得が低い場合に記載

## 農業経営士候補者レポート作成要領

農業経営士候補者は、自己の経営改善や担い手育成、地域振興に対する考え方を示すため、下記によりレポートを作成する。

### 記

#### 1 記載内容

次の事項について項目別に記述するものとする。

項 目	留 意 事 項
1 経営の特色及び発展の過程	経営の発展経過や創意工夫した点を記述する。
2 担い手の育成確保	これからの地域農業の担い手の育成確保には何が必要か、農業経営士として何をすべきかを記述する。
3 地域農業の振興	これまで地域農業発展のために行ってきたこと、今後の取組みについて記述する。
4 今後の経営方向	今後の経営改善の方向や目標について具体的に記述する。

#### 2 書式及び枚数

- (1) A4版縦置き横書きとし、字数は1,500字程度とする。
- (2) 題目を「農業経営士候補者レポート」とし、市町村名と氏名を記入する。
- (3) 各ページの下中央にページ番号を記入する。

(例)

A4版縦

農業経営士候補者レポート
青森市 青森一郎
〇〇〇・・・・・・・・
- 1 -

## 青年農業士候補者レポート作成要領

青年農業士候補者は、自己の経営改善や地域活動等に対するこれまでの取り組みや今後の考え方を示すため、下記によりレポートを作成する。

### 記

#### 1 記載内容

次の事項について項目別に記述するものとする。

項 目	留 意 事 項
1 経営の特色及び経営における役割	経営は家全体の経営、役割は本人が担当する部門の役割について具体的に記述する。
2 自主的研究活動（又は最近取り組んだこと）	自主的に取り組んでいるプロジェクト活動等について取り組みの動機、実施方法、結果、効果、今後の課題等を記述する。
3 地域活動のあり方	地域農業や社会の発展のために、農業青年として今後どのように活動していこうとするのかを記述する。
4 後輩への指導	地域のリーダーとしてどのように新規就農者や後輩を指導していこうとするのかを記述する。
5 今後の経営方向	自分の考える経営改善の方向や目標について具体的に記述する。

#### 2 書式及び枚数

- (1) A4版縦置き横書きとし、字数は1,500字程度とする。
- (2) 題目を「青年農業士候補者レポート」とし、市町村名と氏名を記入する。
- (3) 各ページの下中央にページ番号を記入する。

(例)

A4版縦

青年農業士候補者レポート
青森市 青森一郎
〇〇〇・・・・・・・・
- 1 -

様式5

青森県農業経営士候補者に関する意見書

農業経営士候補者名

〇〇地域県民局

項 目	内 容
1 農業経営者としての資質と経営改善への意欲・取組状況	
2 地域農業の担い手の育成確保に向けた意欲と活動状況（経営体の育成、受託組織づくり、農家留学生の受入等を含む）	
3 地域農業のリーダーとしての資質と活動状況（2以外の地域農業振興への貢献、組織の指導的役割等を含む）	
4 地域農業、農村の活性化に向けた意欲と取組状況	
5 簿記記帳、青色申告の実施状況	
6 その他参考となる事項（人格、後継者の育成状況等を含む）	



様式5

青森県青年農業士候補者に関する意見書

青年農業士候補者名

〇〇地域県民局

項 目	内 容
1 営農経験と農業者・地域リーダーとしての資質・将来性	
2 栽培、経営改善のための創意工夫、自主的研究活動の状況	
3 農村青少年クラブ等の集団活動において果たしている役割・活動状況	
4 簿記記帳、青色申告の実施状況	
5 その他参考となる事項 (人格等を含む)	

様式6

青森県農業経営士（青年農業士）認定取消申出書

年 月 日

青森県知事

殿

市 町 村 長 名

下記の者について、青森県農業経営士（青年農業士）としての認定の取消しを、お  
願いします。

記

1 氏 名

2 住 所

3 認定番号 第 号

4 理 由（認定者からの申請書がある場合は添付する。）